# 調査・研修等計画届出書

令和　元年　１０月21日

瀬戸市議会議長　様

議員名　戸田　由久　㊞

政務活動　として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

| | | |
|---|---|---|
| 期　日 | 令和　元年１０月３０日から１０月３０日まで（1日） | |
| 調査先・研修名 | 第14回全国市議会議長会議長会<br>研究フォーラムｉｎ高知 | |
| 会場名（会場所在地） | 高知県高知市布師田3992-2　高知ぢばさんセンター | |
| 調査・研修の目的<br>（今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 近代日本の礎を築き上げる原動力となった坂本龍馬の「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、現在の地方自治に於ける課題と役割、そして、それらをどう捉え解決に導くかという観点で研修に臨む。また、あらたな令和という時代の議会とは・議員とは、という問についても、坂本龍馬の思想に触れ、あるべき姿を研修する。 | |
| 議長名の依頼 | 要　・　不要（不要を囲む） | 依頼先（名称） |
| 同行者名 | 山田治義・冨田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実・宮薗伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次・10名 | |

※行程表を添付してください。

# 調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 2 年 4 月 30 日

瀬戸市議会議長　様

議員名　戸田　由久　印

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

| | |
|---|---|
| 期　日 | 令和　元　年１０月３０日から　月　日まで（　１日） |
| 調査先・研修名 | 第１４回全国市議会議長会　研究フォーラム |
| 会場名（会場所在地） | 高知市布師田３９９２－２　高知ぢばさんセンター |
| 調査・研修の目的（今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 近代日本の礎を築き上げる原動力となった坂本竜馬の発想を基に議会活性化のための船中八策をテーマとして、現在の地方自治に於ける課題と役割、そして、それらをどう捉え解決に導くかという観点で研究に臨む。また、あらたな令和という時代の議会とは、議員とはという問いについても坂本竜馬の思想に触れ、あるべき姿を研修する。 |

| 調査先の事業の現状・課題　／　研修で学んだこと・キーワード等 |
|---|
| 保守とは何か、とのキーワードについて保守するための改革ということが論じられた。もともと不完全な人間社会である限り完全はてに入らない。よって歴史の中で庶民が積み上げたものによって作られる物をマイナーチェンジしながら守って行くのが保守である。そのマイナーチェンジを行う過程で議論が必要であり、議論を行う中での合意形成こそが保守政治の王道であるという概念で定義された。つまり、保守とは変化する時代に添って伝統を守るための小さな変更を、合意形成しながら行うという事であると理解した。 |

| 調査先（主な質疑・応答内容）　／　研修（受講後の感想） |
| --- |
| 今回の研修において、特に印象に残ったことは、大切なものを守るためには変わらなければならないということである。この変わる事が保守の改革であるとする論が印象的であった。通常、保守という言葉を使うとき、今までの事を今までのように行うことというような理解で使われる場合が多いと思われる。講演の中で、保守本流、保守思想というもののエッセンスを考えて行くならば、必然的にリベラルという概念に行き着くと語られた。保守を明言する議員の一人として、この考え方をもっと深掘りし議員としての活動につなげていきたい。 |
| 調査・研修の成果・考察<br>（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等） |
| 久しぶりに政治的イデオロギーに関して研修できる良い機会となった。私たちは与えられた権限の中で、市長から提出される議案を審査することに精力を傾けている。執行機関との関係の中で、時には忖度や調整が加えられ議決に及ぶ。しかし、必ずしもその判断が政治的に間違いだということにはならない。その議決が市民の福祉向上につながるものであれば、その判断はあっても良いとかんがえる。特に未来についての予測を伴うような施策については、難しい判断を迫られるものも多い。ただ、その判断を行う以前の議員のありかたとして、その政治信条とはどのようなものであるかという事をそれぞれの議員が明確に持つ必要がある。この政治信条とは、自分はどんな主義主張によって議員活動を行うかということだと理解した。今回の研修は、改めて自身の議員活動を振り返る意味で大いに成果を得た。 |